

子どもの貧困対策への市の対応

床井紀範 議員

問 子どもの貧困についての市の考え方は。

答 教育支援、生活支援保護者に対する支援などを相互的に行い、民間とも連携をして多種多様な支援を行っていく。

問 子どもの学習支援事業について、今後は、生活困窮者まで事業の対象

を拡大すべきでは。

答 受け入れ施設の規模等の問題があるが、対象者を拡大していきたい。

誰もが安心して学べる奨学金制度の実現を

問 市の入学準備金貸付や奨学金の実施状況は。

答 ともに申請者の件数

や貸付状況は、減少傾向にある。減少理由は把握していない。

問 返済不要な給付型奨学金制度を新設すべき。

答 実施している自治体はほとんどない。県等の事業で、高校学費の減免制度を活用していただきたい。

福岡中央公園の整備を

問 健康遊具の設置を。

答 老朽化した遊具の再整備が優先で、現在、健



福岡中央公園

康遊具の設置は考えていない。

問 ほこり対策を行うべきでは。

答 強風時等にほこりがひどいことは認識しているので、今後、研究する。

要支援者の介護予防を維持できる総合支援事業

足立志津子 議員

問 要支援者の総合支援事業に専門的事業者のサービスの継続を。

答 現行のサービスは継続の予定。

問 サービスを低下させないために、予防給付の報酬は現行どおりに。

答 介護事業者への報酬は、適正な額を考えたい。

アイデア活かした中小業者の経営相談

問 弱点をセールスポイントに切り替えるアイデアを提案する相談窓口開設で、中小工業者の経営支援を。

答 先進事例を参考に、商工会とも連携して、経

営支援に努めたい。

市立図書館は学習権を保障する運営に

問 市立図書館は、指定管理者制度の上福岡図書館を含め、知る権利や学習権を保障する運営を。

答 直営の大井図書館に、9名中8名が司書有資格の正規職員を配置し、連絡調整会議で上福岡図書館の詳細な点検や調整を実施。大井地域の4文庫の充実も図る。

公民館の使用料減免制度の存続

問 法に基づく社会教育機関である公民館を利用することは住民の権利で、受益と考えるものでない。使用料減免制度は存続を。

答 受益者負担の適正化の面から、減免制度のあり方を検討している。

自衛隊施設への対応・認識などは

塚越洋一 議員

問 情報基地である自衛隊大井通信所について、地元自治体としての認識は。

答 防衛大臣直轄の特別機関である情報本部所属の通信所として、極めて重要な活動をしている施設と認識している。国の交付金については、格上げするよう強く要望している。

問 航空自衛隊人間基地の飛行訓練が市街地上空で行われる危険性と騒音、市への連絡などは。

答 なるべく高いところを飛行するよう努力している。騒音の事実があった場合は、問い合わせれば可能な範囲で回答ができるとのこと。

問 テロリストを生まなために、市と市民・団体・企業ができることは何か。

答 他人に対する嫌がらせをやめ、他人を尊重していくことを実践していくこと。行政や企業・団体は、相談窓口や意見を吸い上げたりする体制を作ることがその第一歩となる。



マンションの支持杭データ偽装問題

問 支持杭データ偽装事件から何を学ぶか。仕様書の改善は。

答 仕様書の段階で再委託や下請けの事項を入れ、適正な設計や施工ができるよう担当課に周知したい。